

【資料2】

令和2年度 設置者(県)の取組状況

1 美術館実施事業への協力

これまでの企画展広報において、文化政策課では主に各広報機関への情報提供、県庁内、東京事務所、県観光協会でのポスター、チラシの配架依頼を行ってきた。今後は定例的に広報物を配架する従来の方法だけでなく、美術館広報委員会や、企画運営会議等を通じて美術館の広報に積極的に関わっていく。

令和3年度の「江戸絵画史の本流」展では、広報委員会において広報手段を検討し「江戸狩野派絵師の人気投票」、「静岡大学での企画展PR活動」、実施した。検討期間が短かったこともあり、広報手段に関する十分な議論が尽くせなかったため、今後も同委員会で美術館の広報について協議を行いオンライン(Youtube等)を活用した広報手段の模索等について議論を進めていく。

2 デジタル化の推進

- ・ウィズコロナ時代において美術館を安全安心に訪れることができるよう、デジタル手続きを導入するとともにいつでもどこでもWEB上で収蔵作品を鑑賞できるコンテンツの充実を図る。
- ・多くの方々に美術館に親しんで頂き、来館に誘導するため、コンテンツの「見せ方」及びその周知方法について美術館と協議を進めている。

事業		概要
	作品情報管理 システム作成委託	・クラウドによる収蔵品データ等の一括管理を行うことで、既存の管理方法よりも効率的な管理が可能となる。集約されたデータはデジタルコンテンツの公開
デジタル 撮影	収蔵品撮影	・収蔵品の中から未デジタル化の作品を選定し、計445点の写真撮影を行う。
	作品移動	
	・地獄の門 3D画像撮影 ・超高精細画像撮影 「龍山勝会・蘭亭曲水図」	館を代表する2作品について、先端技術を用いて撮影を行う。館を代表する2作品が細部まで鑑賞可能となる。
	事前予約制	・R3.5月から導入
	キャッシュレス決済	・R3年度中に導入

3 劣化診断に基づく中期維持保全計画

- ・令和元年度に中期維持保全計画（5年間の修繕計画）を策定し、計画的な修繕を実施している。
- ・令和2年度は主に「本館空調機熱源更新工事」や「特定天井対策他改修工事」の設計業務委託を行った。

対象箇所	契約額（千円）	備考
特定天井改修工事他設計業務委	9,768	R3工事分
荷物用エレベータ更新工事	52,000	R2-3債務
本館空調熱源更新工事	160,600	
本館機械室断熱材修繕工事	10,917	
合計	233,285	

4 特定天井対策工事とその他の改修工事

- ・美術館エントランスホールの特定期天井対策工事とその他の改修工事を令和3年9月～令和4年3月に実施する。その間、美術館全館を休館する。

項目	内容
予算	特定天井対策工事 93,600 千円 その他の改修工事 308,436 千円 合計 402,036 千円
休館	令和3年9月上旬～令和4年3月
特定天井対策工事	エントランスホール天井をワイヤーにより落下防止措置
その他改修工事	客用エレベータ・荷物用エレベータ更新、展示室照明LED化、展示室壁改修、屋上防水工事など